

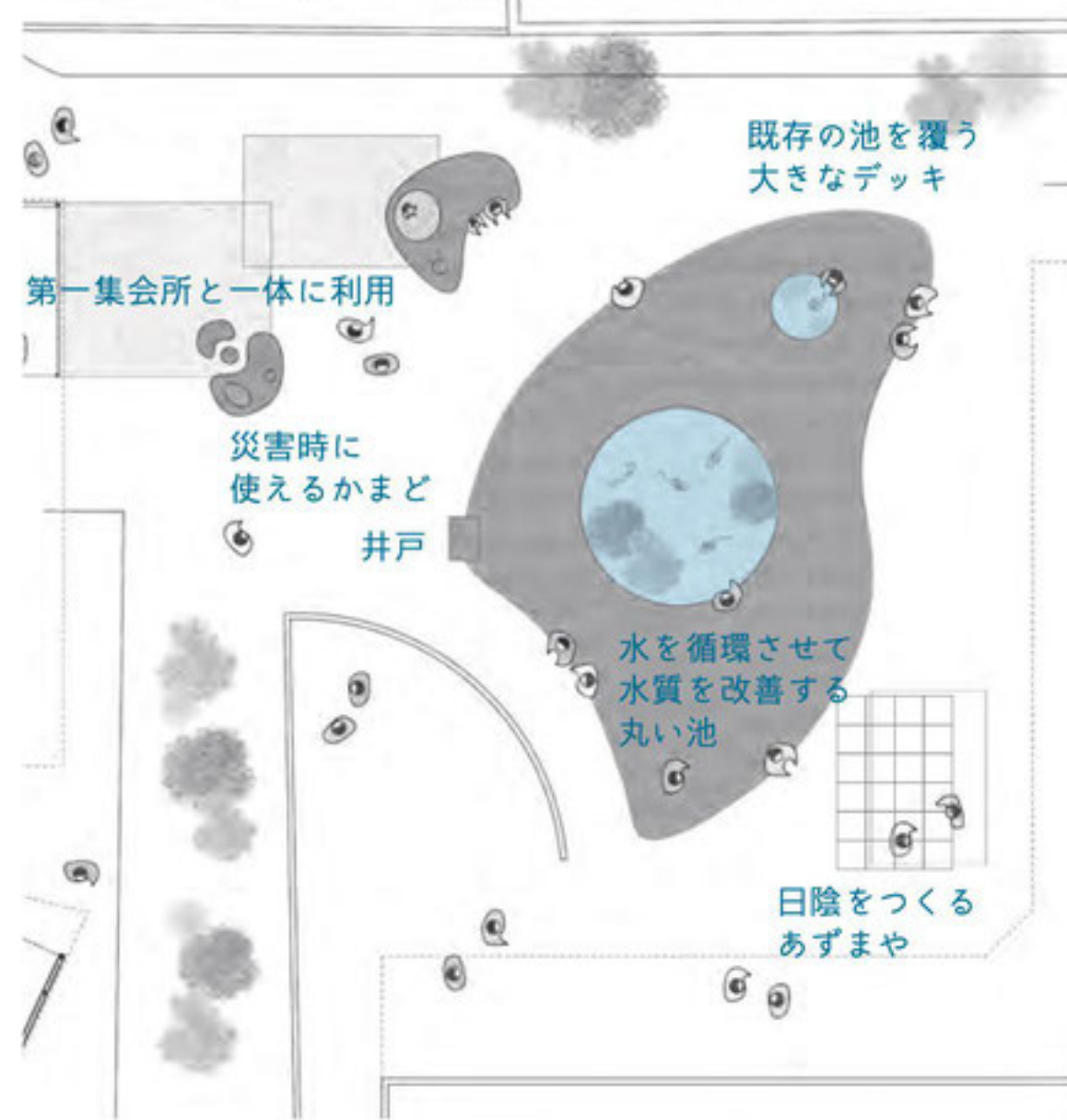
みなさまの声で池広場が生まれ変わりました！

みなさまに頂いた声を元に検討を行ってきた池広場の段差解消工事が、遂に4月に完了しました。ショッピングとの段差をなくして、全体にゆったりとしたスロープで池の周りが回遊できるようになっています。今後は夏祭りや団地フェスティバルなどの池広場で行われる様々な団地イベントを通じて、実際の使い勝手の検証を行っていく予定です。

もともと池広場にあったコンクリートのテーブルが撤去されて、広場が大きく広がりました。団地再生委員会では気軽に集まれる居場所として広場に設置する可動の家具の検討をしています。

また広場を災害時にも利用できるように、防災かまどの設置についても、防災会と共同しながら検討をすすめています。

池広場を気軽に集まれる居場所にする検討のイメージ



編集後記

元号が変わり、団地の総会も終わって新しい年度がはじまりました。みなさまの声から始まった「池広場の段差解消工事」が4月に完了し、今年度はいよいよ生まれ変わった広場で夏祭りが行われます！ぜひ新しい広場にお越しいただいて、ご意見ご感想をお寄せください。



第一集会所の建替えも含めて、池広場を中心としたこのエリア一体を「気軽に集まれる居場所」とすることを目指して活動を行っていきます。



デッキの上で盆踊りをする
ことも可能です

広場の中心で餅つき、
デッキに座って食べることも
できます

だんち☆さむせいのりんかい 団地再生委員会たより

令和元年度
第1号！



日頃、組合・団地再生委員会にご支援頂きありがとうございます。今期、代表理事に就任致しました杉山です。

先期、池周辺の改修段差解消工事が完工し再生委員会の長い期間要望のあった事業が一つ達成出来ました。この工事は、以前から住民の方から色々な場面で「段差が無ければ」との声を伺い組合へ要望した事から始まった事業の一つです。今後は、池周辺を活かす活動と「気軽に集まれる場所」の活動を継続して行う予定です。

再生委員会は今後皆様の声を伺い、協議等を進めて頂けるものと確信しております。

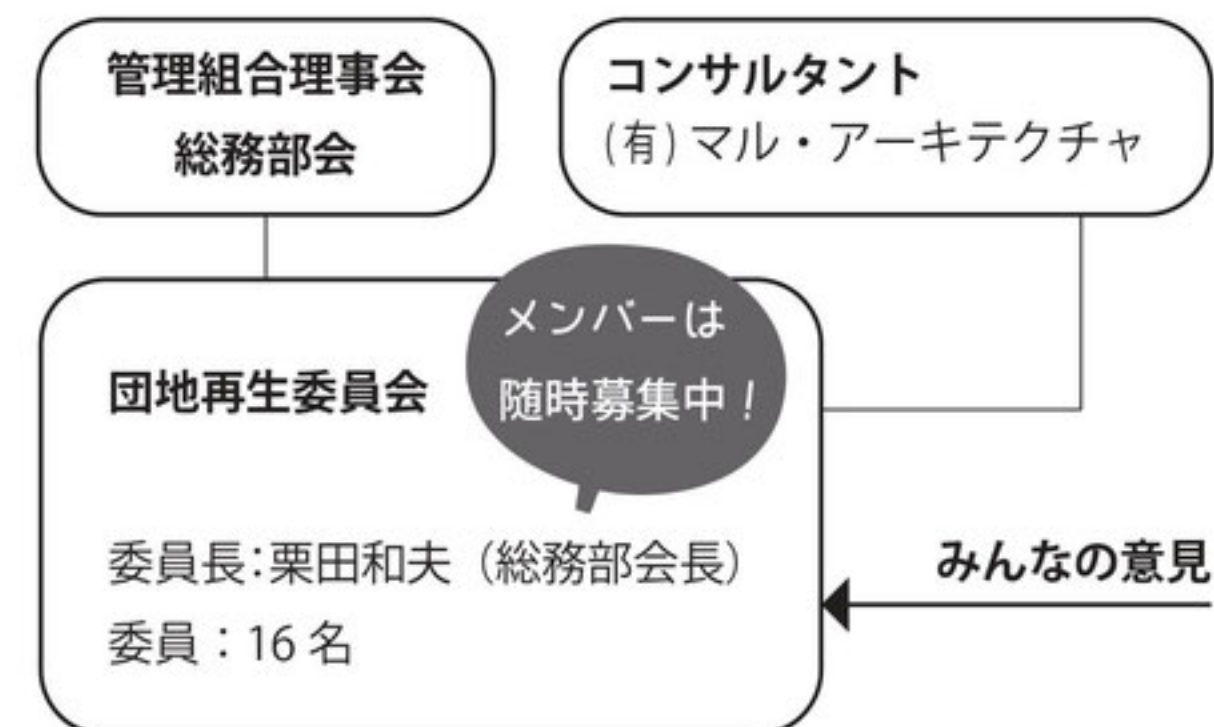
今後、委員会活動の中で広報を通じて皆様へ色々なご意見を紹介する等皆様方と一緒に委員会活動を盛り立て、よりよい団地を目指して委員会は活動してまいりますので、より一層のご支援を頂きます様お願い申し上げます。



団地再生委員会委員長として出戻りの栗田です。私は、まだ現役で専門学校の兼任講師として都市計画・まちづくりを教えています。この団地に住むようになって丁度四半世紀・25年となりました。思えば、東日本大震災の石巻復興支援を終えて戻ってから、管理組合の理事との声がかかり、これも丁度5年目となりました。なにかと節目の年なのかなと思っています。

この団地再生委員会は総務部会のもとに置かれている関係から、現在は総務部会長が委員長を仰せつかっているようです。前回はそうでしたが、委員長として私自身、時間的制約が多く、役割が果たせていなかったことを申し訳なく思っております。集合住宅の団地再生については、まだ誰も経験したことのない多くの課題を抱えております。そうした視点から言えば、先駆的な事例として取り組んでいくことが望まれます。できる範囲内での対処となるかと思われませんが、この一年間、どうかよろしくお願いいたします。

今年度の団地再生委員会

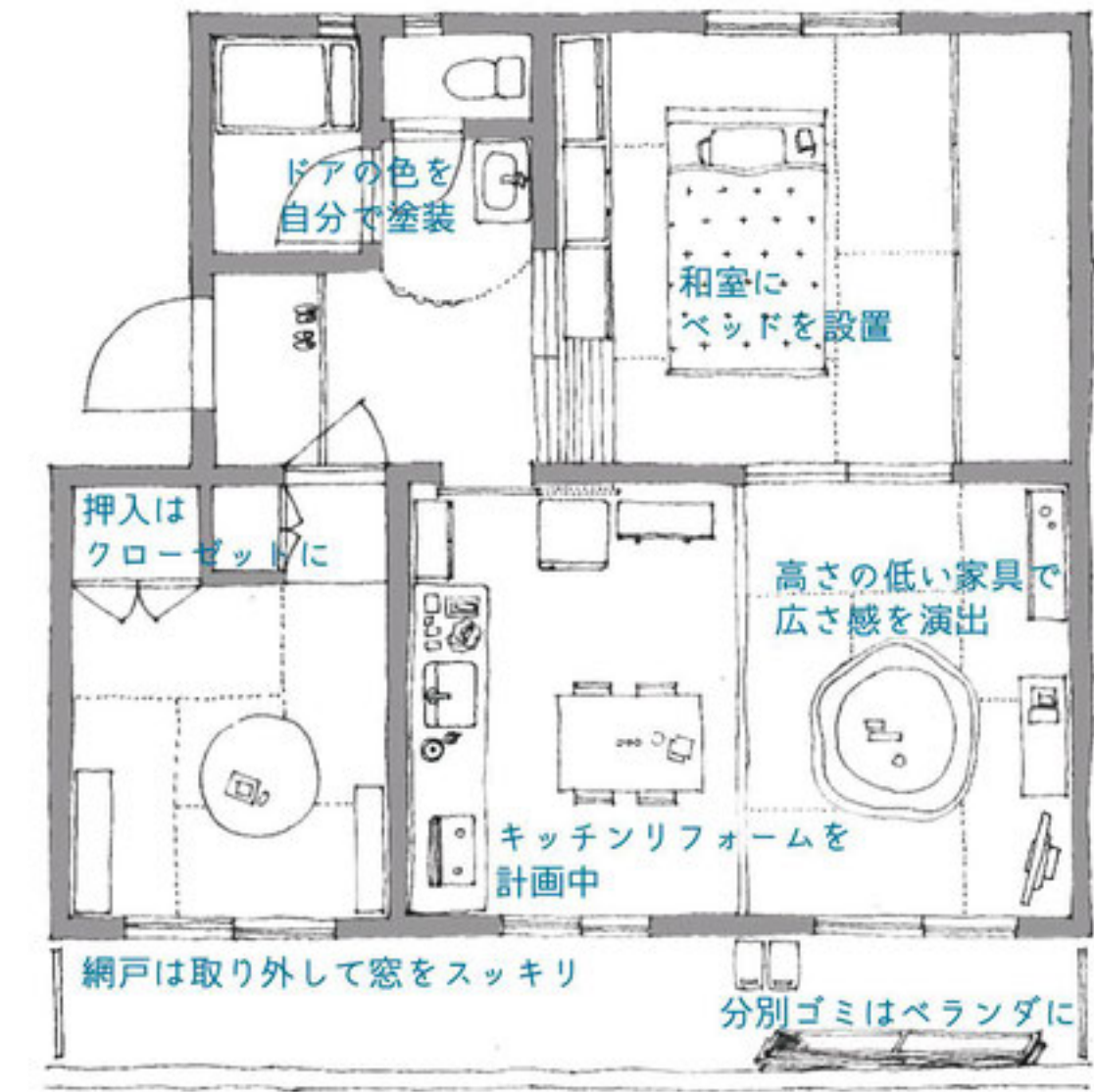


〇今年度の主な活動

- 池広場を気軽に集まれる居場所にする検討
- 集会所をコミュニティと防災の拠点にする検討
- 西小中台団地 50周年に向けたイベントを開催
- 「西小中台の素敵な暮らし」カタログの作成
- 土曜市、映画会の継続開催

にしこなかだい団地の 素敵な暮らしインタビュー

もうすぐ50周年を迎える西小中台団地では、色々な工夫をしながら現代的で豊かな暮らしを楽しんでいる方も多くいらっしゃいます。そこで3組のお宅に、その素敵な暮らしぶりについて、お話を伺いました。



自分でつくるインテリアに 囲まれる暮らし

千葉へは主人の通院をきっかけにやって来ました。西小中台団地は妹から勧められて、引越し前にお祭りに参加してほかほかとした気持ちになりました。光や風がとても魅力的な環境だと思っています。

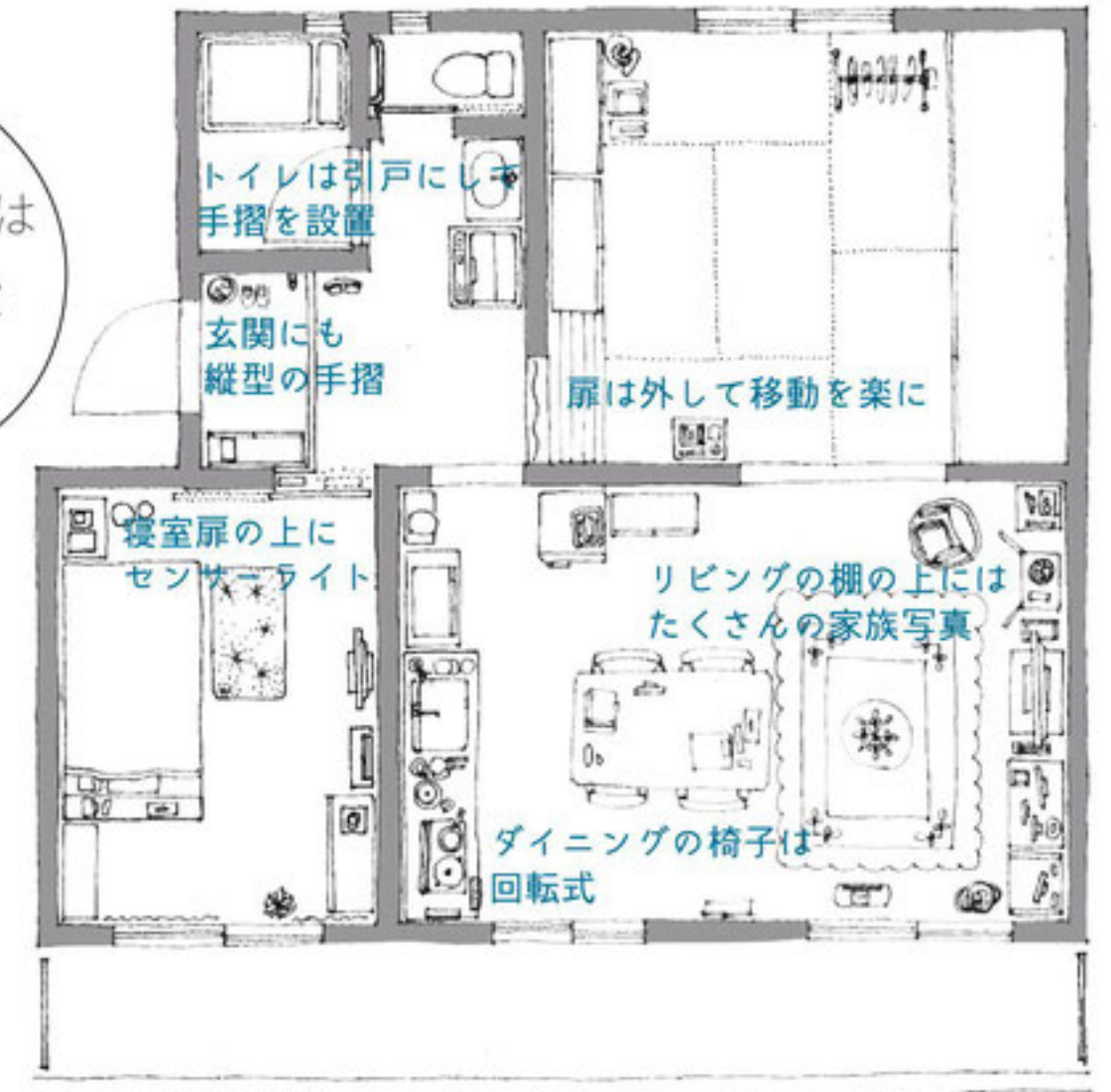
主人が亡くなって2、3年はこれからどうするかを考えたりもしましたが、住み続けるうちに団地の良いところが増えました。たすけあいやグランドゴルフで仲間づくりもでき、人影があるので寂しくは感じません。ただ高齢化が進んでいくことは心配です。

自分でインテリアを工夫するのが好きで、トイレのドアを明るい黄色に塗り直したり、部屋が広く見えるように家具を低く造り替えたりしています。他にもベランダに分別ゴミ箱を見えないように置いたり、動線の邪魔にならないように冷蔵庫の向きを変えました。網戸ははずしてカーテンではなくブラインドを使っています。キッチンのリフォームも考えているところです。
(おはなし：Kさん)

Kさん（女性）
階数：3階
家族構成：1人
年代：80代
入居年数：21年



ひとくちメモ
Sさんが活用したのは介護保険住宅改修費（補助金）です。



補助金を活用した バリアフリーな暮らし

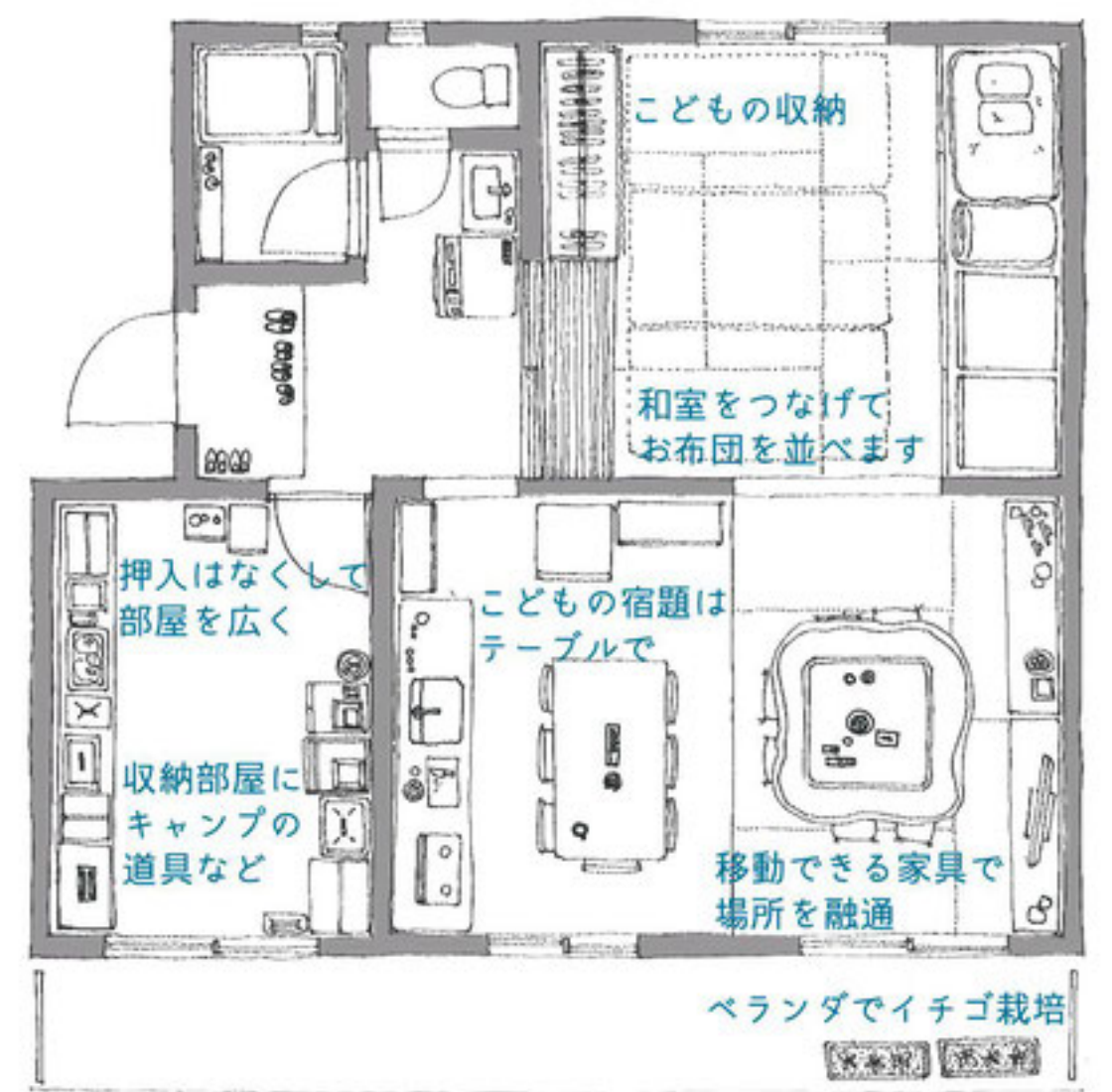
もともと団地に住んでいた娘一家と近居するために越して来ました。要支援1に認定されていますが、基本的に一人で生活しています。補助金を活用して手摺やトイレまでの段差解消をすることで、夜にトイレに起きても安心して移動できるようになっています。車にはのらないので、歩ける範囲で買い物に出かけています。(おはなし：Sさん)

Sさん（女性）
階数：1階
家族構成：1人
年代：80代
入居年数：25年



Kさん（女性）
階数：3階
家族構成：夫婦2人+子ども5人
年代：40代、10代
入居年数：13年

団地に住むきっかけは長女の暁幼稚園入園です。今は子どもが5人いるので、もっと広いといいなと思いますが、個室をつくらないことで子どもがこそこそせずに、親子の距離感がとても近く感じています。賃貸ですが、このまま住み続けていきたいです。



親子の距離が近い こそだて暮らし

近くの市民農園を借りて夏野菜をつくっています。団地の中に借りられる場所があれば、家庭菜園をやりたいです。野菜や果物など食べられるものを育てたいです。

団地は行事も多く、地域で子どもを育ててもらっているように感じています。ただ団地の外の子どもたちも遊びに来て遊び場が取り合いになるので、広い公園や遊具があると嬉しいです。ベビーカーは階段下においていたので、子育てをする上ではエレベーターの必要性は感じませんでした。(おはなし：Kさん)

暮らしのカタログをつくります

団地再生委員会では、これからも素敵な暮らしインタビューを続けていきます。集めたインタビューは素敵な暮らしのカタログとして、不動産パンフレットなどにも活用する予定です。

インタビューを受けていただける方は随時募集しております。ご興味のある方は、ぜひ管理組合事務所までお声がけください。

西小中台団地の不動産パンフレット

